

食品ロスの未来と現状

〈食品ロスとは〉

食品ロスとは、まだ食べられる食べ物を捨ててしまう行為のことです。とてももったいないと思いませんか？それではこれから食品ロスの未来と現状を僕たちと一緒に学んでいきましょう。

〈現状〉

実は、この食品ロス問題、放っておくと食料の生産が厳しくなるので SDGs（持続可能な開発）の定めた 2030 年までにゼロに近くしないといけないのです。現在の日本の 1 年間の食品ロス量は約 612 万 t！これは飢餓の人を 2 年間援助できる量なのです！2030 年まで残り 9 年！かなり厳しくなってきます。

食品ロスを減らさないと食べ物が
とてももったいないよ！



〈未来〉

皆さんは、いつもご飯を食べて栄養を取っているのはご存知だと思います。しかし、このまま食品ロスが減らないと、食料を燃やす時に、CO₂ が出てしまうので地球温暖化が進んでしまい、食品生産がしにくくなると考えられます。その影響で食べ物が不足するので食べ物の値段が高くなり、食べ物が買えなくなってしまう可能性があり、ご飯がまともに食べられなくなってしまうのです！つまり、今まで食べられていたのにご飯が食べられなくなったことで栄養が取れなくなり、栄養不足状態、「飢餓」増えてしまうのです。それが続くと最悪の場合、もっとたくさん的人が死んでしまいます！



〈対策〉

飢餓にならないためにも食品ロスを減らしましょう。

それでは、食品ロスを増やさないようにする対策をお伝えします。

放っておくと食料の生産が厳しくなります。

まず1つ目は、買いすぎをしないことです。例えば、事前に冷蔵庫の中を見て必要なものを書いてから買い物をすると防ぐことができます。

次に2つ目は、期限切れを注意することです。例えば賞味期限と消費期限の期間を把握しておくことです。

そして、3つ目は、作りすぎないことです。例えば、食事する人数と作る料理を考えたうえで作ると防ぐことができます。

このように、食品ロスを減らす方法はたくさんあります。皆さんも僕たちと一緒に食品ロスを減らしましょう。

あなたの協力がみんなを救うのです

〈参考〉

食品ロスの現状を知る：農林水産省 (maff.go.jp)

イエメン 5歳未満の子ども 8万5,000人が飢餓で犠牲の可能性 (savechildren.or.jp)